



久和くわ小この北森きたもり勇太ゆうたくん（上）と、南小なんこの若松わかしら三菜みいな美みさん（右）



今日から新しい学校の仲間

「お兄ちゃん、お姉ちゃん、仲良くしてください」

久和小（厳原）と南小（豊玉）で、一人の入学式

4月8日、市内のほとんどの小・中学校で入学式が行われるなか、厳原町の久和小学校では、一人の新入生を迎える入学式が行われました。

担任の先生に手を引かれて式場に入場した新入生の北森勇太くんは、多くの出席者に注目され少し緊張した様子。式では校長先生が「今日から久和小学校のかわいい大切な一年生です。学校はとっても楽しいところですから、毎日元気に通って下さい」とお祝いの言葉を贈り、4名の在校生（6年生1名、4年生1名、3年生2名）は、歓迎の歌を披露して入学を祝いました。歓迎を受けた勇太くんは「お兄ちゃん、お姉ちゃん、これから仲良くしてください。よろしくお祈ります」と元気よく挨拶し、暖かい拍手を受けました。

また、豊玉町の南小学校でも若松三菜美さんが1人だけの入学式に出席し、在校生14名から歓迎を受けました。

今年、市内の小学校には372名、中学校には316名の新1年生が入学しました。

隠れた対馬の名所を巡る

つしま HOT SPOT



せんびょうまきやま
千俵せんびょう蔭山まきやま（上かみ県ぐん町まち）

千俵蔭山は山頂が草で覆われており対馬では珍しい山です。名の由来は、昔は山焼きが行われていたことから山全体が草に被われており、麦やソバの種を千俵ほども蒔ける雄大な山であるということ、いくつかのころからかそう呼ばれるようになりました。

1969年を最後に山焼きが途絶えていましたが、今年3月9日、40年ぶりに山焼きが復活したのは記憶に新しいところです。

また、この山にはその昔、防人・烽が置かれていました。これは、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に

敗れた日本軍が外敵襲来に備えて天智3年（664年）に配置したものです。

烽で警報を発するときは、昼間は煙をあげ、夜間にはかがり火をあげて島内で中継し、舌岐を経て太宰府や遠く都まで知らせたといわれ、この通信手段の起点が千俵蔭山であったといわれています。

また、ここでは毎年6月にあじさい祭り併せて、パラグライディング大会も開催されており、そのテイクオフ地点は千俵蔭山の山頂です。

対馬のパラグライダー愛好家によれば、千俵蔭山は、海から吹きつける風がパラグライダーには適しているそうです。大会当日はパラグライダーの体験もできますので、是非足を運んでみてください。

【お知らせ】

観光交流課では、みなさんからの情報をお待ちしております。こんなところがあるよ、などの情報がありましたら、ドシンドシお寄せください。

対馬市役所観光交流課

0920（53）6111

FAX 0920（53）6122

メールアドレス

asightseeing@city tsushima.jp